



美術・歴史館で来館者5万人を達成！！

10月2日、諫早市美術・歴史館が、平成26年3月1日のオープン以来、5万人目の来館者を迎えました。5万人目の来館者となったのは、鹿児島市から企画展を見に来られたという有村ちづ子さんと冨ヶ原洋子さんのお二人。記念品として、眼鏡橋をデザインした館職員手作りのパズルが贈呈されました。お二人は、「諫早は初めて訪れました。友人から素晴らしい書道展が開催されていると勧められ、日帰りで来ました。5万人目と言われてビックリ。いい作品も見ることができて感激しました。最高に嬉しいです。」と話されました。その後、鈴木館長と記念撮影を行い、5万人達成をお祝いしました。

国重要文化財に指定



エーセルテレカラフ 個人蔵 諫早市美術・歴史館寄託
(手前が送信機、奥が受信機)

平成27年9月4日に「エーセルテレカラフ」が国重要文化財に指定されました。市内での重文指定は眼鏡橋につづき2例目となりました。エーセルテレカラフは幕末（1864年以前）に佐賀藩の技術者、中村奇輔（なかむら きすけ）により製作されたと伝えられる電信機で、「近代化をめざす幕末」という時代を表す資料の一つです。

電信機とは電報を送信、受信する機械のことですが、このエーセルテレカラフは指字式とモールス式の折衷形式で、素人でも操作が容易であるという長所があります。

館主催企画展



諫早家を支えた家臣たち

(6月25日～7月26日)

「諫早家家臣」をテーマに、諫早家家臣の子孫の方々から寄贈・寄託いただいた多くの貴重な資料約170点を展示。また、家臣に伝わったアールセルテレカラフも国指定重要文化財に答申されたことを記念し、あわせて展示しました。



諫早大水害の記憶 一昭和32年7月25日一

(7月1日～26日)

昭和32年の諫早大水害から半世紀以上が経過し、人々の記憶が風化しつつある水害の記憶を継承し、防災の気運を高めることを目的に開催しました。水害関連写真や水難者名簿、救援幟（のぼり）、体験者による手記など約150点を展示しました。



太平洋戦争と諫早

(8月5日～16日)

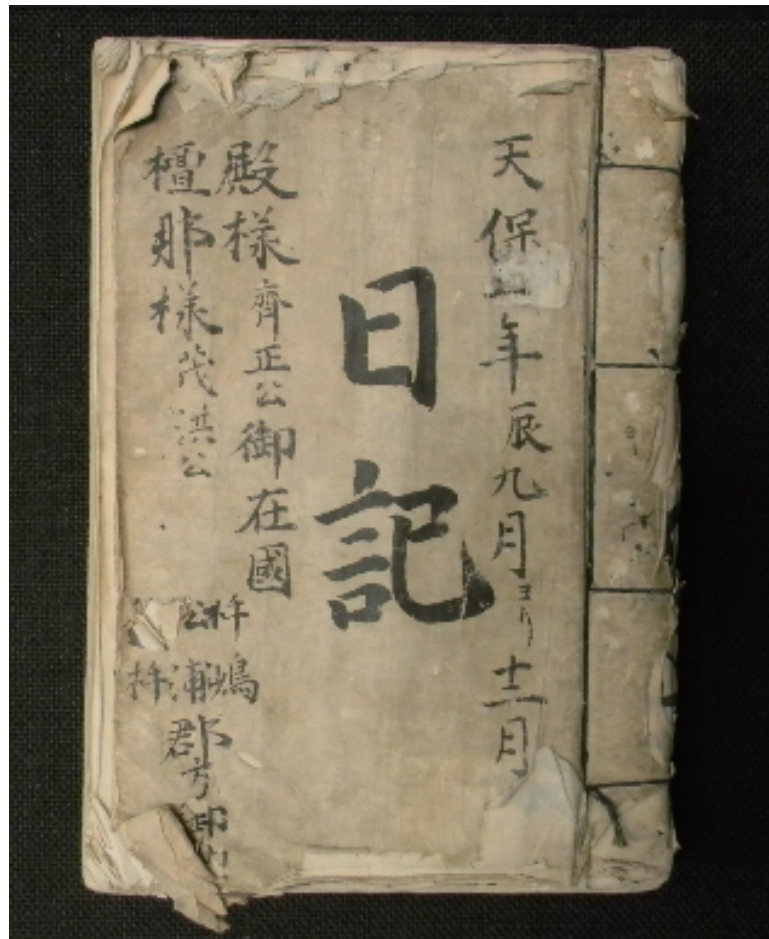
戦後70年となり、戦中戦後の遺構、戦時中の地域の様子や生活など、その当時の事を知る人が少なくなってきました。今回、市民の皆様から出品して頂いた資料と当館収蔵の資料合わせて約200点を展示し、昭和16年～25年頃を振り返り、「戦争とは何か」を考える展覧会となりました。



廣津雲仙作品展

(9月19日～10月11日)

高来町出身の書家・廣津雲仙氏を顕彰するための「尾花忌」が今年で10回目を迎えることを記念して開催。廣津氏は日展内閣総理大臣賞や日本芸術院賞を受賞し、日本を代表する書家の一人に数えられています。関係者の協力により、作品36点をはじめ筆や硯など合わせて約50点を展示しました。



日記 (にっき)

諫早市には、諫早家が江戸期に記した多くの記録が保存されています。ここに紹介する『日記』はその一つで、平成 19 年 2 月 1 日、諫早市指定有形文化財に指定されました。

延宝 4 年 (1676) から慶応 4 年 (1868) までの 193 年分、1033 冊が現存しています。このうち当館では天保 3 年 (1832) の『日記』2 冊を所蔵しています。

日記は毎日の公式記録で、日付、天気の記事に始まり、旦那様（諫早領主）の動向や佐賀藩内での出来事、自然災害、長崎港警備などの記載があり、内容は多岐にわたります。諫早領主は佐賀城内の諫早屋敷で政務を行うことが多く、不在となる諫早には「会所」を設けて領地の行政にあたらせていました。このため日記には、佐賀と諫早で書かれたものがあります。

- 展示中の資料から -

そめつけしくんしもんかくびん かめやまやき

染付四君子文角瓶（亀山焼）



年代 文化4年～慶応元年頃（1807～1865頃）

寸法 長径8.2 短径8.1 高台径6.9×6.9 全高12.7

亀山焼は文化4年（1807）頃、長崎市伊良林で大神甚五平（おおがみ ごんべい）らにより、オランダ船の水瓶を製作するために開窯されました。しかし、ナポレオン戦争のためオランダ船の来航が減少したため、長崎奉行所の指導で文化11年（1814）から白磁染付の製品を作るようになりました。また、天保10年（1839）頃より中国蘇州の陶土を用いたものも製作しています。しかしながら資金難などの理由から次第に衰微し、慶応元年（1865）頃閉窯となりました。作品には絵付けを崎陽三筆の木下逸雲（きのしたいつうん）・日高鉄翁（ひだか てつおう）・三浦梧門（みうら ごもん）らが描いたものもあります。

焼物の四面には四君子（蘭、竹、菊、梅）が描かれ、蓋の上部には双幅のコウモリが描かれています。世界各国ではコウモリは不吉の象徴として使われることが多いですが、中国では吉祥紋様の一つとして使用されます。

催し案内 （諫早市美術・歴史館が行う企画展や、貸室の主な催しを紹介します）

| 10・11月開催予定 | | 美術・歴史館 館長講座 |
|---------------------------------|---|---|
| 第54回諫早市美術展覧会 | ■と き：10月29日（木）～11月1日（日） ■と ころ：1階ホール・2階企画展示室・研修室 ■問い合わせ：諫早市美術協会事務局（TEL 0957-22-1103） | ■と き 11月22日（日） 午前10時～正午 ■と ころ 2階研修室 ■内容 「諫早の七不思議（第2回）」 ～十二支公園とは何か～ ■講師 鈴木勇次（美術・歴史館館長） ■対象 高校生以上（定員30人） ■その他 受講料無料、当日参加可 ■問い合わせ先 美術・歴史館（TEL 0957-24-6611） |
| 尾崎正義自選作品展 | ■と き：11月5日（木）～11日（水） ■と ころ：2階企画展示室 ■問い合わせ：尾崎さん（TEL 0957-26-1337） | |
| 教職員退職互助部諫早支部 第4回趣味の作品展 | ■と き：11月6日（金）～8日（日） ■と ころ：1階ホール ■問い合わせ：教職員退職互助部諫早支部（TEL 0957-23-2886） | |
| 第35回県央地区書家作家 協会書道展 | ■と き：11月13日（金）～15日（日） ■と ころ：2階企画展示室 ■問い合わせ：県央地区書家協会（TEL 0957-42-3139） | |
| 第24回美術協会書部 代表作家展 | ■と き：11月20日（金）～22日（日） ■と ころ：2階企画展示室 ■問い合わせ：長崎県美術協会書部（TEL 090-5083-7685） | |
| 鎮西学院創立135周年記念 長崎原爆被爆70周年 写真展 | ■と き：11月26日（木）～30日（月） ■と ころ：1階ホール ■問い合わせ：鎮西学院広報戦略室（TEL 0957-26-8200） | |

諫早市美術・歴史館だより 第4号 <年3回発行>
〒854-0014 諫早市東小路町2番33号
TEL：0957-24-6611 FAX：0957-24-6633
E-mail：bireki@city.isahaya.nagasaki.jp